

国際連携系職員養成プログラムレベルⅠ①

「外国人受入入門」－留学生の受入 A to Z－

■講師



塩川 雅美(摂南大学 学長室 大学改革アドバイザー)

大学卒業後、OA 機器メーカーでインストラクターとして3年半勤務。1988年に学校法人谷岡学園神戸芸術工科大学に就職し、大学業界に入る。神戸芸術工科大学では、国際交流と広報を担当(最後の役職名は、広報・国際交流課長)。職務と並行し、1995年に神戸大学大学院国際協力研究科博士前期課程に社会人入学(1997年修了)。再び2000年に同研究科博士後期課程に編入学し、2005年に博士(学術)の学位取得。京都工芸繊維大学国際交流センター(助教授)、関西国際大学(国際交流センター次長)を経て、2010年より学校法人常翔学園に勤務。総務部国際交流コーディネーターを経て2015年4月より現職。愛媛大学教職員能力開発拠点 SDC。JAFSA 常務理事(2002年～2006年)。JAFSA『留学生受入れの手引き(初版)』及び『～増補改訂版～』プロジェクト代表等。

■プログラム概要

文部科学省による「留学生受入れ30万人計画」はもとより、国内学生の海外派遣数増加推進の方針に応じるためにも留学生の受け入れ推進は多くの大学にとって、避けては通れない課題になりつつあります。しかしながら、留学生受入れ業務は、経費と人手がかかるために、大学内の業務の中でも「後回し」になりがちであることも否めない事実です。今回の研修は、「国際連携系職員養成プログラム」の「レベル1」として、「留学生受入れ業務」のA to Zについて説明しながらも、「留学生受入れ業務」全体を俯瞰しますので、初心者ではない方も、今一度、業務を見直していただくきっかけになることでしょう。少ない担当者数、少ない予算でも、実践できる「留学生受入れ業務」の事例も紹介します。

■主な受講対象

大学等で海外からの留学生の受入業務に携わっている方。教員、職員を問いません。初心者及び経験年数が短い方はもちろんですが、中小大学等での事例も紹介しますので、経験年数の長い方でも、「おさらい」のために参加くださっても受入業務全体を俯瞰することによって、新たな発見や、業務改善のヒントになります。

■本プログラムの到達目標

1. 外国人の受入手続きができる。
2. 外国人に渡日前の手続きについて説明することができる。
3. 外国人に渡日時の手続きについて説明することができる。
4. 外国人の就学・就労等に関する支援ができる。
5. 日本の生活・安全に関して説明することができる。
6. 外国人に帰国時の手続きについて説明することができる。

■日時・会場

日 時 : 平成27年8月26日(水)13:00～15:00

会 場 : 愛媛大学 城北キャンパス